

2012.11.26

「野田 VS 安倍論争は安倍総裁の勝ち」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。今日は 11 月 26 日月曜日です。先程、安倍総裁に会って参りました。マスコミでは安倍バッシングが盛んですが、こうしたことに対応するため、経済政策、特にデフレ対策についての表現をこうしたらいいのではないか、ということを私のブレーンとともにお話をさせていただきました。話した感触としては、安倍総裁のお考えは全く我々が心配する必要はありませんでした。

安倍総裁とお話しした経済政策とは次のようなものです。まずは、デフレ対策を十分に行うために、公共投資で需要を創造し、その分に必要な財源を建設国債で賄います。その国債を民間銀行が引き受けます。昨今のデフレ状況の中で貸出が伸びず、民間銀行には資金が余っているのです。ですから、民間銀行は国債という形でお金の使い道を示せば、喜んで使うのです。そして、財政出動によって企業に仕事が増えれば、民間銀行への資金需要も増加します。また、その時にお金が足りないと、金利が上昇してしまうので、政府は日銀と強調して国債をどんどん買い上げていく必要があります。そうすれば、金利を上げずに安定して資金供給がおこなうことができ、仕事を増やすことができます。この一連の流れを日銀アコードと呼びますが、これをやればいいのです。安倍総裁も、政権を取ればこの経済政策を進める旨を仰っていましたし、どんどんや

って頂くべきなのです。

しかし、問題は野田総理です。国債をどんどん発行して財政規律はどうなるのか、国債を日銀が直接引き受けすれば日銀の独立性を損なう、といったことを言っておられます。そもそも、後者について安倍総裁は仰ってもいません。安倍総裁が仰っているのは日銀との協調政策なのです。

この勝負は、野田総理がこうした批判をする時点で決着がついたも同然なのです。安倍総裁の仰る政策がけしからんというのなら、野田総理が正しい政策を行えばいいのです。野田総理の仰っていることが正しければ、デフレは解消できるのです。ですが、野田総理は財務大臣、総理大臣をも務めながら何一つデフレ対策を行ってきませんでしたし、ゆるやかにデフレを促進することを平気でやってきたのです。そのような野田総理が安倍総裁に対して考え方が不謹慎だ、などという批判は見当違いもいいところです。

安倍総裁が野党の党首であるにもかかわらず、財政出動の必要性を訴えたことで世間はどうか反応したでしょうか。野田総理が何もしなくても市場が反応したのです。安倍政権が誕生すれば経済が良くなる、という見通しが立つから株価は上がります。国債を発行して通貨を供給し、円の価値が下がるという見通しが立つから、円安が進行するのです。死せる孔明、生ける仲達を走らす、といった言葉もありますが、安倍総裁が政権を取っていないにもかかわらず、安倍総裁の影響のおかげで市場が動いたのです。これがまさに、勝負あった、ということです。

結局、野田総理は野党の党首はできても、与党の党首は出来ない方なのです。相手の批判をすることで自分の政権浮揚を図っているのかもしれませんが、相手の批判をする前に政策を実行しなさい、と言いたいです。内閣として法案を提出する力もあったのだから、デフレを脱却する政策を行うべきだったのです。自分達のやった実績が何もないから、選挙前に安倍総裁を批判するというのは本当にあさましいかぎりです。一日も早く野田総理には辞めて頂きたいです。もはや、野田総理と議論しても何の意味もありません。

今日は最後には是非皆様方をお願いしたいことがあります。12月3日、来週の月曜日なのですが、東京都千代田区平河町の都市センターホテルにおいて会費二万円で第三回政経セミナーを行います。今回の講師は安倍総裁です。選挙直前ですが、安倍総裁は必ず来て頂ける、ということです。是非、こちらにお申込み頂きたいと思います。当日、直接来て頂いてもよろしいのですが、食事等準備の都合もありますので、事前に申し込んでいただきたいと思います。二万円は高いじゃないか、というお叱りの言葉もあるかもしれませんが。私も政治とカネの問題は随分追及して参りましたが、綺麗なお金の集め方は多くの方々から薄く広く集めていくほかないのです。よって、このような形式で安倍総裁をお招きして、お弁当しか出ませんが、お金は全て来春の私の選挙資金に使わせて頂きます。是非、ご出席賜ればと思います。

今日も御覧になって頂き、まことにありがとうございました。